



はいさい

第187号
令和4年5月27日

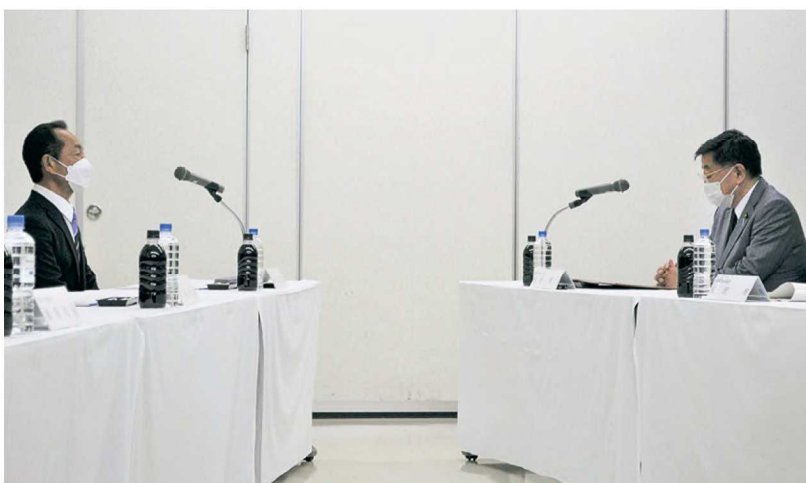
—編集企画・発行—
沖縄防衛局 総務部報道室

沖縄防衛局ホームページ



〒904-0295 嘉手納町字嘉手納290番地9 TEL (098)921-8131 <https://www.mod.go.jp/rdb/okinawa/>

松野 内閣官房長官 訪沖



渡具知名護市長(左)との面談

松野内閣官房長官が、令和4年4月2日から3日の日程で沖縄を訪れました。4月2日、国道58号拡幅の視察、泡瀬地区埋立事業の視察、キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）の視察及び沖縄市長との面談を行いました。翌3日には、名護東道路の視察、名護市長との面談、キャンプ・シユワブの視察、辺野古区長との面談、豊原区長との面談及び久志区長との面談を行いました。



キャンプ瑞慶覧（ロウワー・プラザ住宅地区）の視察



桑江沖縄市長(右)との面談

目次

CONTENTS

- 松野内閣官房長官訪沖 1
- 嘉手納弾薬庫地区の一部土地の返還 2
- 那覇港湾施設移設に関する協議会（第28回）について 3
- 沖縄県復帰50年の在沖米軍専用施設返還の歩み 4
- 嘉手納以南の土地の返還に係る統合計画の進捗 5

- 普天間飛行場代替施設建設事業について 6
- 防衛施設周辺対策事業（一般助成） 7
- キャンプ・ハンセン再編に係る
給食センターのオープンセレモニー 7
- 在沖米空軍による取り組みについて 8

嘉手納弾薬庫地区の一部土地の返還

平成8年3月の日米合同委員会合意に基づき、嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫地区）の一部土地について、本年3月31日に返還が実現しました。土地所有者、うるま市長及び沖縄市長をはじめとする地元の方々のご理解、ご協力、また、返還実現のために尽力いただいた在日米軍及び現地米軍の関係者の皆様に対して感謝いたします。

返還に先立ち、本年3月10日、うるま市石川保健相談センターにおいて、返還に係る地権者説明会を開催し、当局から返還に係る経緯や返還後に実施する支障除去措置等について説明、また、うるま市から返還後における道路整備事業について説明を行い、参加された方々から様々なご質問等を承りました。

今般の返還地の大部分について

は、本年4月以降、隣接する陸上自衛隊沖縄訓練場用地として使用する事になります。

今後、支障除去措置を実施する箇所については適切に実施し、早期の土地の引き渡しに向けて着実に進めてまいります。

この度の嘉手納弾薬庫地区（旧東恩納弾薬庫地区）の一部土地の返還により、平成8年3月の日米合同委員会合意に基づく返還は最後になります。引き続き、沖縄の負担軽減のため、嘉手納以南の土地の早期返還に向けて全力で取り組んでまいります。

嘉手納弾薬庫地区(旧東恩納弾薬庫地区)の一部返還



那覇港湾施設移設に関する協議会(第28回)について

令和4年3月30日、国(防衛省、内閣府及び国土交通省)と沖縄県、那覇市、浦添市及び那覇港管理組合で構成する「那覇港湾施設移設に関する協議会(第28回)」がオンラインで開催されました。

本協議会は、那覇港湾施設の移設を円滑に進めるため、関係機関において、那覇港湾施設の移設に関連する諸措置を協議するために設置されたものであり、平成13年度から開催されているものです。

今回の第28回移設協議会においては、防衛省から、第27回移設協議会において那覇港管理組合から報告のあった「浦添ふ頭地区における民港の形状案」を踏まえ、これと整合を図る形で、日米間で調整を行い得られた約49haの代替施設の位置及び形状案(下図「那覇港湾施設代替施設」参照)について説明を行い、那覇港管理組合から那覇港長期構想に係る状況等について説明がありました。

それらを踏まえ、各構成員は、今回

防衛省から報告を受けた代替施設の位置及び形状案について確認を行った上で、今後の作業の方向性を確認する第29回移設協議会に向けて同案について検討を行うことを確認しました。また、同協議会の日程については、民港の港湾計画改訂に向けた検討に影響のないよう早期に開催することについて一部の構成員から要望がありました。さらに、移設を円滑に進められるよう、引き続き協議会の構成員の間で密接な調整を行っていくこととしました。

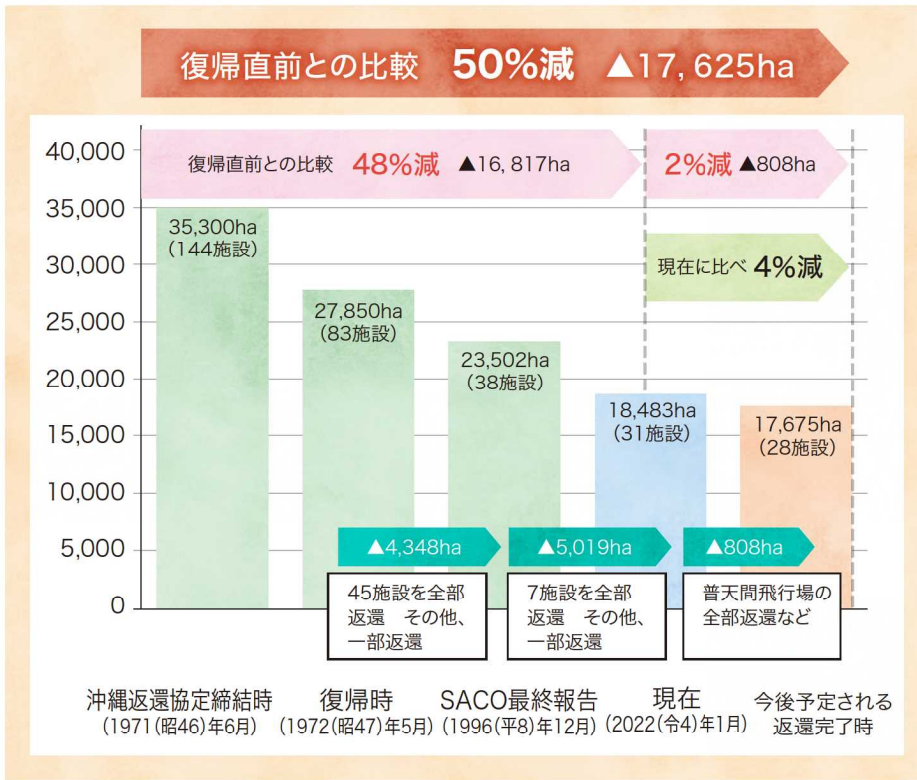
このように那覇港湾施設の移設を着実に進めていくためにも、国と地元の方々が参加する移設協議会の場で議論を深めていくことは重要と考えています。防衛省としては、那覇港湾計画との整合を図りつつ進めることとしており、早期に港湾計画の結論が得られるよう地元の関係機関と協力していく立場です。第29回移設協議会についても、早期に開催できるよう取り組んでまいります。

那覇港湾施設代替施設の検討図



※浦添ふ頭地区における民港の形状案に代替施設の形状を追記したものの

沖縄県における米軍専用施設の面積推移



注1: 現在に至るまでの面積は、その時点の実績

2: 今後予定される返還完了時の面積は、既に計画された返還が実行された場合の数値(2022(令和4)年2月現在)

3: 今後予定される返還が完了した場合、全国の米軍専用施設に対する沖縄県所在の米軍専用施設の割合は、2022(令和4)年1月1日時点の70.3%から69.4%となる見込み。

4: 計数は四捨五入によるため符合しないことがある

沖縄県復帰50年の 在沖米軍専用施設返還の歩み

復帰時(昭和47年5月15日)における沖縄県における米軍専用施設は83施設27,850ha。現在(令和4年1月時点)は31施設18,483haとなっており、この間52施設9,367haの米軍専用施設が返還済みです。

用施設が返還済みとなりました。その中でも平成28年12月の北部訓練場の過半の返還(約4,000ha)は本土復帰後最大の返還となりました。現在は、嘉手納以南の土地の返還を進めています。

復帰から現在(2022.1)までの米軍専用施設の全部返還実績

返還年月日	専用施設名称
1 S47. 8. 14	ハーバービュー・クラブ
2 S48. 2. 15	宮古島航空通信施設
3 S48. 2. 15	宮古島バルタック施設
4 S48. 3. 31	コザ通信所
5 S48. 4. 3	那覇サイト
6 S48. 4. 6	知念第一サイト
7 S48. 4. 16	与座岳サイト
8 S48. 5. 14	久米島航空通信施設
9 S48. 6. 30	泡瀬倉庫地区
10 S48. 6. 30	牧港サービス事務所
11 S49. 1. 9	知念第二サイト
12 S49. 3. 31	牧港調達事務所
13 S49. 3. 31	新里通信所
14 S49. 4. 30	平良川通信所
15 S49. 4. 30	西原陸軍補助施設
16 S49. 8. 3	石川陸軍補助施設
17 S49. 9. 30	与座岳陸軍補助施設
18 S49. 10. 15	知念補給地区
19 S49. 10. 31	読谷陸軍補助施設
20 S49. 10. 31	波平陸軍補助施設
21 S49. 12. 10	キャンプ・ブーン
22 S49. 12. 10	牧港倉庫
23 S50. 1. 31	浦添倉庫
24 S50. 3. 31	キャンプ・ハーディ
25 S50. 6. 27	那覇海軍航空施設
26 S50. 6. 30	恩納サイト

返還年月日	専用施設名称
27 S51. 3. 31	瑞慶覧通信所
28 S51. 3. 31	キャンプ・マーシー
29 S51. 6. 30	与座岳航空通信施設
30 S51. 9. 30	カシジ陸軍補助施設
31 S52. 3. 31	南部弾薬庫
32 S52. 4. 30	砂辺陸軍補助施設
33 S52. 5. 14	キャンプ・ヘーグ
34 S52. 11. 30	嘉手納住宅地区
35 S54. 6. 30	伊波城観光ホテル
36 S54. 8. 31	屋嘉レスト・センター
37 S56. 3. 31	久場崎学校地区
38 S58. 6. 30	天願通信所
39 S61. 10. 31	那覇空軍・海軍補助施設
40 S62. 5. 31	牧港住宅地区
41 H5. 3. 31	牧港補給地区補助施設
42 H5. 3. 31	那覇冷凍倉庫
43 H5. 6. 30	砂辺倉庫
44 H7. 8. 31	那覇サービス・センター
45 H7. 11. 30	恩納通信所
46 H8. 12. 31	知花サイト
47 H14. 9. 30	工兵隊事務所
48 H18. 9. 30	瀬名波通信施設
49 H18. 12. 31	楚辺通信所
50 H18. 12. 31	読谷補助飛行場
51 H23. 7. 31	ギンバル訓練場
52 H27. 2. 27	慶佐次通信所

嘉手納以南の土地の返還に係る統合計画の進捗

平成25年4月、嘉手納飛行場以南の土地の返還について、具体的な返還年度を含む返還スケジュールが明記される形で沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画（統合計画）が公表されました。

防衛省として、引き続き、統合計画における嘉手納飛行場以南の土地の返還を着実に実施し、沖縄の負担軽減を目に見えるものとするため、それぞれの土地の返還が可能な限り短期間で実現できるよう、全力で取り組んでいくことが重要であると考えております。

キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）の返還

キャンプ瑞慶覧（西普天間住宅地区）約51ヘクタールは、平成27年3月31日に返還され、沖縄健康医療拠点として、病院、学校、住宅等の建設が計画されており、跡地利用のモデルケースとして期待されています。

西普天間住宅地区（返還前）



跡地利用イメージ



牧港補給地区の一部土地（国道58号沿い）の返還

国道58号を拡幅し、交通渋滞を緩和するため、国道58号に隣接する牧港補給地区（国道58号線沿い）が平成30年3月31日に返還されました。

現在沖縄総合事務局が国道58号の拡幅工事を進めており、令和4年3月27日には暫定開通され、渋滞緩和が期待されます。

拡幅前（6車線）



拡幅後（8車線）



普天間飛行場代替施設建設事業について



(令和4年4月撮影)

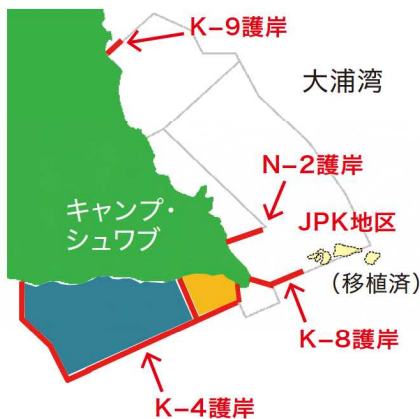


令和4年4月3日 松野内閣官房長官
キャンプ・シュワブ視察

間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、辺野古移設に向けた工事を進めてまいります。

キャンプ・シュワブにおける普天間飛行場代替施設建設事業につきましては、平成29年11月から辺野古側の護岸工事に着手し、平成30年12月に埋立工事に着手し、昨年8月には4.0mまでの埋立が完了しました。引き続き、4.0m以上の埋立工事を進めてまいります。また、JPK地区の移植対象サンゴ類の移植作業が完了したことから、3月よりK-8護岸の延長工事に着手しました。

普天間飛行場の辺野古移設をめぐる問題の原点は、市街地に位置し、住宅や学校で囲まれ、世界で最も危険と言われる普天間飛行場の危険性の除去と返還です。当局としましては、今後とも、普天間飛行場の一日も早い全面返還を実現するため、引き続き、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の方々の生活環境に最大限配慮し、辺野古移設に向けた工事を進めてまいります。



(令和4年4月撮影)

埋立区域 埋立作業状況



(令和4年4月撮影)

K-8護岸 延長工事状況

環境監視等委員会(第36、37回)を開催



第36回環境監視等委員会の様子



沖縄防衛局ホームページ
環境監視等委員会

令和4年2月22日(第36回/沖縄防衛局)及び4月27日(第37回/ホテルサンパレス球陽館)に「普天間飛行場代替施設建設事業に係る環境監視等委員会」を開催しました。

同委員会ではレッドリストサンゴ類の生息状況などについて当局から説明を行い、質疑応答が行われました。

普天間飛行場代替施設建設事業の実施に当たっては、これまで同委員会の指導・助言を踏まえ、適切な環境保全に努めてきたところであり、今後とも引き続き、同委員会の指導・助言を得ながら適切に進めてまいります。

防衛施設周辺対策事業（一般助成）

令和4年4月15日、宜野湾市消防署我如古出張所庁舎の落成式が行われ、松川市長をはじめ関係者の方々が出席し、施設の完成を祝いました。

本施設は、宜野湾市及び防衛施設で起こりうる火災、救急等の災害に迅速に対応するため、

宜野湾市が防衛省の防衛施設周辺整備助成事業（補助額約2億8千万円）を活用して新たに整備したものです。

当局といたしましては、地域住民の皆様方の生活と防衛施設との調和を図ることが何よりも重要であると認識しており、今後とも防衛施設周辺

の皆様方の生活の安定及び福祉の向上に寄与するための各種施策の実施に取り組んでまいります。



落成式の様子



小野沖繩防衛局長の祝辞



セレモニーの様子（左から、ガーバーキャンプ・ハンセン司令官、パウアーズ海兵隊太平洋基地司令官、小野沖繩防衛局長、仲間金武町長）

沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画において、牧港補給地区の倉庫地区の大半を含む部分の返還に伴い移設を要する施設の一つとして、同地区に所在する給食センターをキャンプ・ハンセンに移設する工事を進めていたところ、令和3年11月末、同施設が完成し、令和4年4月6日にオープンセレモニーとして、テープカットを行いました。テープカットには、パウアーズ海兵隊太平洋基地司令官、ガーバーキャンプ・ハン

キャンプ・ハンセン再編に係る給食センターのオープンセレモニー

セン司令官、仲間金武町長、小野沖繩防衛局長も参加しました。



給食センター外観

当局担当者(当時)の声



令和3年度当時担当していた石川大祥です。本施設の移設工事に携われ、

沖縄における在日米軍施設・区域に関する統合計画の進捗を、肌で感じるとも貴重な経験が生まれました。引き続き、沖縄の基地負担軽減のため、まい進していきたいと思えます。

✦ 在沖米空軍による取り組みについて



★ Kadena Air Base

～嘉手納基地弾薬中隊による シーミー（お墓参り）に係る掃除等の取り組みについて～

嘉手納基地においては、第18弾薬中隊所属の米空軍兵がシーミー前にお墓の清掃や嘉手納基地への立ち入りに係るエスコートを実施しています。



お墓掃除の様子



お墓掃除の様子



エスコートの様子



お墓掃除の様子



※撮影時のみマスクを外しています。

嘉手納基地 第18弾薬中隊
ヘイスース・ロゾヤ2等軍曹

お墓の清掃に携わった人の声

今回行われた清掃ボランティア作業3回全てを指揮しました。お墓の清掃の作業前に現場確認及び視察を行い、ボランティア要員の募集及び清掃の準備を行いました。このお墓の清掃において、嘉手納基地第18弾薬中隊のボランティアと一緒に14～15基のお墓を清掃しました。



※撮影時のみマスクを外しています。

嘉手納基地 第18弾薬中隊
マイケル・リコウスキー3等軍曹

清掃ボランティア作業のうち1回を指揮しました。また、ロゾヤ2等軍曹と共にお墓の清掃の作業前に現場確認及び視察を行いました。

今回の清掃作業中において不発弾が発見され、嘉手納基地の不発弾処理部隊において対応及び処分をしました。住民の皆さんがより安全にお墓を訪れることができるように取り組んでいます。